平成 19 年度 事務事業評価シート

事務 向花~清水線道路整備事業 所属部建設部	
政策 0 1 快適で魅力あるまちづくり 課 長 名 中村順二 政策 ************************************	
施策名 0 2 交通体系の充実 所属G(係) 道路整備第	第1G
基本事業名 0 1 道路ネットワークの構築 電 話 番 号 45-5111	
会計 款 項 目 事業 事業名 法人	
予算科目	
	9
<u>事物事業の似安(兵体的などり)が、子順、計画。新聞的なた後数千足事業は主体像を記述)</u> この道路は、国分地区を南北に結ぶ幹線道路で、県道国分霧島線のバイパス的な機能を果たす重要な道路であ 単年度のみ	1)
る。今回の道路整備により、交通量を分散し県道の慢性的な交通渋滞を緩和するよう計画している。道路工事の延長	
は約557m、道路幅が約11mで計画している。	
	年度~)
<弗 技階> 3~ 8年度 測重設計,用地貝収,上事施上	,
< 第2段階 > H19 ~ 20年度 工事施工 H20年度工事完成予定 期間限定複数	
L→(H 13 年度~	· H 20 年長)
1 現状把握の部(DO) (1) 事務事業の目的と指標	
(1) 争務争業の目的と指標 手段(主な活動) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
19年度実績(19年度に行った主な活動) 名称	単位
橋梁架設工事(暫定)延長L = 60m	十四
	m
20年度計画(20年度に計画) ブルスまな活動)	
20十支計画(20十支に計画している工な活動)	
道路改良工事 (延長L = 428m) ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 対象指標(対象の大きさを表す指標)	32 /2-
県道国分霧島線の通行車輌 名称 コリニギョン・電台線のほど、東京	単位
マ 県道国分霧島線の通行車輌	台/時間
' <u> 1 </u>	
	-+6+=/
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	· 相信) 単位
ア朝、夕の浜田皮膚科前から山形屋前交差点までの通過時間	分
7 / 1	//
 	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
安全・快適に移動できる。 名称	単位
→ ▽○ フ│改良率、舗装率	%
→ 「	箇所
ウ 修繕・改修箇所数/修繕・改修が必要とされた箇所数	箇所
(2) 総事業費·指標等 単位 18年度 19年度 20年度 (字/表) (字/表) (字/表)	
の推移 ^{半位} (実績) (実績) (見込) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
別 数送広園主山会 て田 24.400 2.200	
尹	
美 <u> </u>	
投費 訳 一般財源 千円 38,840 64,580 150	
一般財源 千円 38,840 64,580 150 事業費計 (A) 千円 133,200 143,510 101,000	
77	
ア m 129 60(暫定) 428	
活動指標 イ	
フ <mark>台/時間</mark> - 1,118 1,321	
対象指標 イ	
j j	
ア 分 - 13 13	
成果指標 イ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
j d	
7 % 87,55 87,55 89,59	
上位成果指標 7 8 8 7	
上位成果指標 イ 箇所 8 8 7 ウ 箇所 1,610/2,300 1,690/2,420 1,780/2,540	
上位成果指標 イ 箇所 8 8 7 0 0 1,610/2,300 1,690/2,420 1,780/2,540 1 1,780/2,54	
上位成果指標イ 箇所887ウ 箇所1,610/2,3001,690/2,4201,780/2,540(3) 事務事業の環境変化・住民意見等この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
上位成果指標 イ 箇所 8 8 7 0 0 1,610/2,300 1,690/2,420 1,780/2,540 1 1,780/2,54	

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

県道国分霧島線の通行車輌は年々増加傾向にあり、早期の渋滞対策が望まれる。

地域住民等から当該路線の完成と継続路線の早期計画が望まれている。

	事務事業名	向花~清水線	道路整備事業	所属部	建設部	所属課	土木課
2	評価の部(SEE) プロングラス 対策体系との整		価、ただし複数年度事業は ■ 見直し余地がある 【理		☑ 結びついている	【理由】 「	<u>¬</u>
	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついて	りは市(町)の政 へ?意図すること	県道国分霧島線は霧島市に	おける幹線	ーー・・・・ 道路のひとつであり、利用	目者が多くえ	・ 技滞が激しいことから、この道路が とを目的とする道路ネットワークの構
的妥	公共関与の妥	当性	□見直し余地がある【理	!曲】 🧇	☑ 妥当である 【理	由」之	
評	なぜこの事業を市がらないのか?税金を する目的か?		県道国分霧島線の通行車輌が することは妥当である。	が快適に移	動できるようになることを	目的とした	市道の整備であるため、市が関与
価	対象・意図の妥	妥当性	□見直し余地がある【理	曲)之	☑ 適切である 【理	申プ	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		県道国分霧島線は慢性的な3 対象・意図を見直す必要はな	, I _°	·		R刻となると予想されるため、現状の
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理日	∃) ⊅	□ 向上余地がない	【理由】「	₽
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 因で成果向上	平成20年度の事業完了をめる	むて整備を	き進めており、計画どおり	順調に進ん	υでいる。
有	廃止・休止の原	以果への影響	□影響無 【理由】 🖜		▼ 影響有 【その内	容] 🞝	
効性評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		この事務事業を廃止・休止した	:場合、県道	道国分霧島線の慢性的な	(交通渋滞	に拍車がかかる。
価	類似事業との約 可能性	統廃合·連携の	✓ 他に手段がある(具体 場ができる)				
	目的を達成するには		□ 統廃合できる 与			きない 🕤	✓ 連携できない 🕤
	以外他に方法はない の統廃合ができるか 連携を図ることにより 期待できるか?	?類似事業との	県道国分霧島線の改良計画がであり統廃合・連携はできない 他に手段がない 【理由	0	渋滞緩和の目的を達成で	きない。今	中の工事と併せて進めていくもの
	事業費の削減	余地	▼削減余地がある【理日		□ 削減余地がない	【理由】	₹
効率	成果を下げずに事勢いか?(仕様や工法の協力など)		盛土材などの資材調達方法の	検討を行い	1、工事費の縮減を図る。		
性	人件費(延べ業	美務時間)の削	□ 削減余地がある 【理日	∄	▼ 削減余地がない	【理由】	₽
	減余地 やり方を工夫して延 減できないか?成果 正職員以外の職員 ¹ いか?(アウトソーシ	!を下げずにより や委託でできな	工事積算·発注を職員で行ってい。	ている。これ	らは市職員でなくては対	対応ができた	ない業務であるため削減はできな
公	受益機会・費用	月負担の適正	■見直し余地がある 【理	(由)	☑ 公平・公正である	3 【理由】	₽
公平性評価	化余地 事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	公共施設(市道)の整備であり	、利用者が	『一部の住民に限られるも	らのではない	, 1,
3			(次年度計画と予算への反		J) 【担当説 振り返り、反省点)	長記入	
(1)	1次評価者として 目的妥当性		□ 見直し余地あり 🕠	,	,	自治へい	가
	有効性 効率性 公平性	適切	日 見ましな地まり ては、		周達方法などを検討し工		滞緩和が図られる。事業費に関し 域を図り、平成20年度完成にむけ着
(3)	今後の事業の方向	句性(改革改善	案)・・・複数選択可		N.D. WAR + +	٠,,	改革・改善による期待成果
		▼ 事業の 事業の	Dやり方改善(有効性改善) Dやり方改善(効率性改善) Dやり方改善(公平性改善)	(従来	状維持 通りで特に改革改善をし		BL・休止、道路・施設整備等の場合は記入不要) コスト
יבן	(下縮)風のため、盛土	材の受け入れ方 う	まについて、より効率性を高めて	2614.			上 維 果 低 下
			すべき課題(壁)とその解決: 。盛土材の運搬距離等がより総		るよう関係機関との調整を	- 図る	
IE.	エヂにか光/エ时朔のi	正川火文C(4)	。血土物の建物に触守かよりだ	:/A II II C /C {	ッ& 기취(水伐) (지) (지) (지)	- ICI 90	
1							

			平月	戓	19	年度	事務	事訓	業評価シ	-					
N.	_		事	į	務一元。	和通線街路整備	#事**						所 属	部 建設部	
N	0.		事	業	名 半1	N. 思 級 田	用争耒						所 属	課都市整備	課
	<i>/-/-</i> -	政策名	0	1	快適で	が魅力あるまちつ	づくり						課長	名 川東 千	寻
政		施策名	0	2	交通体	系の充実							所属G(1	係) 都市整備	G
体	糸					ットワークの構	 築						電話番		
			会		款	項目目	事業		事業名			ᆠᄼᄳ			
		·算科目	— <u>f</u>	设	0 8	0 5 0 3			づくり交付金事		(で)	根拠 措:	巾可圆法 追览 置法		· 都市再生特別
						方、手順、詳細								事業期	間
で、 L=´	現 111(在歩道のない)mは改良済る	1区間 み。]、 h i	福員の犯	ビックセンター交 ぬい区間の歩道の 手度から平成24年	D設置及び道	路の	の拡幅を行う。	平成			までに延長	■ 単年度のみ■ 単年度繰返	
						工事の施工	FIXICITITY C.	J/ZA 'PH	IXXX C11.47	0				□)(▼ 期間限定複数 □、 □ 10 年度	
1	悪	状把握の部	(DO	1										□ (11 19 千皮	11 24 午1支)
		水に建める 務事業の目			標										
		別事業の日 段(主な活動		14,	1///							活動指標	票(事務事業の活	動量を表す指標)	
1	9年	度実績(19	年度	127	行った	主な活動)							名称		単位
		間延長L=27 以可申請資料				l測量設計、地元 も	説明会、				ア	計画箇所	fの取得した用:	地累積面積	m²
2	n缶		圧度	1.7	针面1,	ている主な活動	h)			⇒	1	計画箇所	fの補償した累	積件数	件
事	業認	 可申請 申請、補償物					<i>a</i>)			,	ウ	計画箇所	 fの道路改良工	事累計延長	m
	対	象(誰、何を	対象	きに	してい	るのか) * 人や	自然資源等	£				対象指標	<mark>₹(対象の大きさを</mark> 名称	表す指標)	<mark>単位</mark>
		線の道路利 地の地権者				歩行有) 及び借家人など	利害関係人	事	坐田 地	\Rightarrow	7	亚和语组	石小 Rの道路利用者	(人 / 12時間
	~/ I.	1-042-01E E/	~= 17	د, د	,,, 15 E	ДО ПЗОССС	// VIOLUSI DE C.I.		*/IJ-B	7			の道路利用者		台 / 12時間
													工事に係る土地		筆
	意	図(この事業	*によ	こつ	て、対象	象をどう変える	のか)							意図の達成度を表	
	全か	つスムーズに	通行	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	きる。								名称		単位
			人の理	里解	や協力	を得ながら、事業	美用地として必	要心	な土地を円					/ 計画区間延長	%
滑	こ取	得する。								,		対象路線	の通過時間		分
	/ ₂ + 1	T		_ /.+	v /L 1	1704)					ウ				
÷		果(どんな結 かきに発動か			ひ付け	するのか)					_	上位成果		成度を表す指標)	単位
女:	Ŧ'1	央適に移動か	, (, 5	ବ						, k	7	改良率、	名称 ^{銛奘家}		<u>辛证</u> %
										\Rightarrow		改改革、 渋滞箇所			五五元 箇所
										,				必要とされた箇所数	箇所
(2)	総	事業費·指标	票等		単位	18年度	19年度		20年度			年度	22年度	23年度	24年度
			准移			(実績)	(実績)		(見込)		(男	見込)	(見込)	(見込)	(最終目標)
		財園庫支	出金	<u>}</u>	1十	101,750	22,00	00	58,00	00					
	事	別 都道府県 源		金	千円	70.000	4=	00	=0.00						
	事業費	内			千円	79,000	17,10	UU	78,30	JU					
投	費	その 訳 一般則	が追	-	千円	4,250	O	00	8,70	10					
投入量	ŀ	事業費計	(A))	千円	185,000	40,00		145,00						
量		于木只川	(/ (,	113	100,000	10,00	00	1 10,00	,,,					
				7											
				ア	m	0		0	81			1,340	1,840	2,100	2,240
	7	活動指標		<u>イ</u>	件	0		0		8		16	24	30	32
-				ウマ	M 人 / 12時間	120	11	0 20		66 10		66 140	66 140	66 140	270 200

ゥ 箇所 1,610/2,300 1,690/2,420 (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

台/12時間

筆

%

分

%

箇所

1

対象指標

成果指標

上位成果指標

87,55

500

0

6

500

0

6

87,55

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平和通線は、昭和31年都市計画決定、平成5年より事業認可を受け、国分シビックセンター前から東側(京セラ国分工場側)に向けて幹線道路として整備開始。平成19年度末現在都市計画決定延長L=1,610mのうちL=1,110mが改良済みである。本路線は中心市街地を東西に縦断する街路であり、その両端に は大企業(ソニー、京セラ)が立地しており、重要な幹線として位置づけられている。

1,780/2,540

700

24

89,59

5

700

11

24

5

91,60

1,870/2,670

700

24

5

91,60

1,960/2,800

700

20

24

5

91,60

1,960/2,800

1,850

100

93,61

1,960/2,800

2

事務事業を取り巻〈状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

平和通線の西側延長に位置する天降川橋が平成18年に供用が開始され、また中心市街地の再編が進んでいるなど、ますます、本街路の重要性が高まって きている。事業開始から長期間が経過したことで事業開始時の地権者が亡くなり、相続が発生、全員の承諾が困難になったり、地価変動により単価設定の変 更などが生じている。建設事業の必要性や優先順位、経済効果などに対する地権者等の権利意識も高まってきている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 都市計画決定より多大の年数を費やしているため、早期の事業完成を地元住民から要望されている。また、未着工の区域については特に道路が狭く、また都市計画法第53条(建築 の許可)の規定により建築制限を行なっていることもあり、特に地権者からは早期の着手が要望されている。

	事務事業名	平和通線街路	整備事業	所属部	建設部	所属課	都市整備課
2	評価の部(SEE) 政策体系との整		位、ただし複数年度事業は ■ 見直し余地がある 【理	途中評価 由) 🕤	▼ 結びついている	【理由】	₽
	この事務事業の目的 策体系に結びつくだ が結果に結びつい	か?意図すること		•	行者、通行車両が安全	で快適に	* 通行でき、交通体系の充実につな
的妥	公共関与の妥		▶ 見直し余地がある 【理	曲】之	☑ 妥当である 【理	申」之	
評	なぜこの事業を市(りばならないのか?移達成する目的か?	町)が行わなけれ 社金を投入して、	都市計画法に基づき、市道としが行うことは妥当である。	て整備する	る道路の拡幅であり、都	市の健全な	は発展と秩序ある整備を目的に市
価	対象・意図の多	妥当性	■ 見直し余地がある 【理 また平和通信を利用する者が				適に通行できるようになるため適切
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		主に平和通線を利用する省がである。 必要最低限の事業用地の取得				
	成果の向上余	:地	▽向上余地がある【理由		□ 向上余地がない		
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	らべき水準との差 原因で成果向上	拡幅事業全体としては、まだ途 現状約6分、今後拡幅されるこ				しており、計画区間の通過時間は
有	廃止・休止の原	成果への影響	□影響無 【理由】 🖜		▼ 影響有 【その内	容] 🦜	
効性評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		安全で快適な都市生活や円滑	骨な都市活	動、利便性の向上、良好	² な都市環	境の整備ができなくなる。
価	類似事業との第一可能性	統廃合・連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには以外他に方法はない		□ 統廃合できる 🕤 🔲	連携できる	5 🦜 🔲 統廃合で	きない 🕤	◯ 連携できない 🕤
	との統廃合ができるの連携を図ることに	か?類似事業と	住宅が密集している狭い道路	で、拡幅改	良工事以外良好な都市	環境を整備	帯する事業は存在しない。
	が期待できるか?		☑他に手段がない【理由				
	事業費の削減		┃ ┃ 削減余地がある 【理由	a) 🕏	▼ 削減余地がない	【理由】	→
効率	の協力など)	い適正化、住民		协産鑑定結	果及び損失補償基準に	基づき算法	定されるので削減の余地はない。
性評	人件費(延べ美 減余地	業務時間)の削	┃ ┃ 削減余地がある 【理由	a) 🕏	▼ 削減余地がない	【理由】	₽
		や委託でできな	用地取得のための地権者との 削減はできない。	交渉や施行	テに向けた工事費積算・	工事管理	ま、市職員が行なうことになるので
公平	受益機会·費戶 化余地	用負担の適正	■見直し余地がある 【理	曲】ラ	☑ 公平・公正である	【理由】	⊅
性評	事業の内容が一部で ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	よいか? 受益者	公共施設の整備であり、利用す	当が一部の	住民に限られるものでは	tない。	
	評価結果の総括。 1次評価者として		:(次年度計画と予算への反 (2) 会		l) 【担当記 辰り返り、反省点)	果長記入	
(1)	目的妥当性	☑ 適切	□ 見直し余地あり → ★東本				通行車両が安全で快適に通行で
	有効性 効率性	☑ 適切☑ 適切		た、住宅が			することは都市環境整備の上でも
(3)	公平性	☑ 適切 向性(改革改善	□ 見直し余地あり = □ = □ = □ = □ = □ = □ = □ = □ = □ =			(4)	改革・改善による期待成果
(0)	□ 廃止 □休止	□ 事業の)やり方改善(有効性改善)	▼ 現料		(廃	止・休止、道路・施設整備等の場合は記入不要)
	□ 目的再設定 □ 事業統廃合·連 改革改善案 >	携 □ 事業の	つやり方改善(効率性改善) つやり方改善(公平性改善)		通りで特に改革改善を し	2(1)	コスト 削減 維持 増加 向上 成維 果 括 低下
(5)	以車、以善を実坊	兄96上で解决 つ	すべき課題(壁)とその解決				

平成 19 年度

No	Э.			事事業	務 馬	立北原線道路整	產備事業							出		支所
		Th 255 A	,			5 th th th th th th th	\$ / 12						所属			1
政:	策	政策名		-		が魅力あるまちつ) ()						課長			Λ
体	系	施策名		0 2		系の充実							所属G			
		基本事業				マークの構築		主 业力		Т			電話	番 亏	59-3111	
	予	·算科目		会計 一般	款 0 8	項 目 0 2 0 2 1	事業 13011 道路	事業名 新設改良事	業(道	通常)	法令 根拠	持になし				
事	ろ	事業の概.	要()	具体的	かなやり	方、手順、詳細	。期間限定複	数年度事業	は全	体像	を記述)			事業期	間
						:国道504号を結り							丁中心	\Box	単年度のみ	
街を	シア	クセスする	バス	路線で	で、沿線	には小中学校、幼	稚園、区画整理	区域等も位置	置する	通学员	路でもあ	る。	40 T			
년 소 최	₽砕	iははは且 保する	級に	のるか Oの全な	、幅貝ル 木延長と	が狭く歩道がないた しては5,637mでも	この、 半 理を払1. 5.3が 今回の事		アンコ	こより1 と原娘	进行毕♥ !衣姜占∙	両'巫仃看 付近から∂	の女の		単年度繰返	
100	ール mを	床する。 車道6.0	т н т н	歩道3	. 0 m = 1	総幅員10.25m	「現況は総幅員6	,0 m、步道無	まし)に	こ拡幅	文を点	る。	J M J 0		□ (年度~)
< 貧	第1	段階 > H	118年	度 子	備設計	H19~20年度	詳細設計,用地買								期間限定複数	
					F度 用:	地買収,工事施工	-							<u>₽</u>	H 18 年度	~ H 26 年度)
		状把握の 務事業の			+355											
		79 乗り 段(主な)			行示				1		活動指	神(車移	事業の	壬番九昌	量を表す指標)	
					行った	主な活動)					/U =//JE	11x (31 1)	名称	山玉川当	色色化 为 1日1示 /	単位
		量設計業			,,,,,,	T 07 H 2 17)					== 2114 + 21	4 m A A		<u>.</u>		
用均	也買	以 A = 1	,039	m²)/	事業訪	明会の	参加省	汉		人
									_		m til m	110 == 1=				2
20	0年	度計画(20年	度に	計画し	ている主な活動)		5	1 1	用地具	似面積				m²
用均							,		, i	_	` ± □ <i>b</i> ¬ <i>b</i>	·	7.T III			
										ار.ا	坦 路0	(良工事	延長			m
	対	象(誰、何	Jを対	対象に	してい	るのか) * 人や	自然資源等				対象指	盾標(対象	の大きさ	を表す	す指標)	
_		原線の通		輌									名称			単位
<現段階の対象> アルス フェース 日本 アルス アンス アンス アンス アンス アンス アンス アンス アンス アンス アン											台/日					
地権者及び地元住民 イル権者及び住民数 人												人				
	흐	図 / - 	= \ ₩	I-	7 to	会士 じこホラフィ	D41)			ウ	rt: 田 +b	5+西 / ++ 4-		****		
		<u>凶(この</u> ≢ 通行できる		によう	C' XJ	象をどう変えるの	ינוטי)				<u> </u>	1信(刈家	にのりる 名称	思区	の達成度を表	<u>9 </u>
		移動でき		になる	,					、ア	歩道が	分離確保		長 / st	全体路線延長	<u> </u>
		階の意図							۲	1	理解協	力してい	る地権	者の	割合	%
						力してもらう				ウ						
					さび付け	けるのか)					上位成	果指標(主成度	きを表す指標)	
安全	主・作	央適に移動	かでき	53						_	76 C T	7	名称_			単位
									🖒		以 民 举 渋 滞 筐	5.舗装3 5.65数	<u> </u>			% 箇所
									,				修繕·改修	が必要	とされた箇所数	
(2)	総	事業費·	指標	等	34 / 3 -	18年度	19年度	20年度	'		年度		2年度	T	23年度	26 年度
` '			の推		単位	(実績)	(実績)	(見込)		(5	見込)	()	見込)		(見込)	(最終目標)
		財工	支出	出金	千円											
	事	(四) 即) 但) [1] (1) [1] (1) [1] (1)			千円		05 500	00.00	00							
	業	内一型	b方値 - の値		千円		25,500	38,00	00							
投	費		. 0.7.1 般財		千円	4,305	1,371	2,00	00							
入量	ľ	事業費		(A)	千円	4,305	26,871	40,00								
里																
	ļ															
-									\dashv							
				ア	人	_	17		\pm					+		
	;	活動指標	į	1	m	0	1,000	2,2	200		1,30	0		0	0	0
				ウ	m	0	0		0		10		20		200	100
	ア <mark>台/日</mark> 1010 1010 1010 1010 1010 1010 1010 10															
	対象指標 イ 人 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25															
	ア <mark> ツ </mark>															
	ı	成果指標	į	7	%	100	100		00		10		10		100	100
	,	-W-121H 1W	•	ㅎ		.30	.50	<u>'</u>	-		,,		- 10	+	.00	100
				ア	%	87,55	87,55	89,	,59		91,6	60	91,6	0	91,60	
	上	位成果指	標	1	箇所	8	8		7			6		6	6	
(3)	ウ <mark> 箇所</mark> 1,610/2,300 1,690/2,420 1,780/2,540 1,870/2,670 1,960/2,800 1,960/2,800 3) 事務事業の環境変化・住民意見等															
						^{恵見寺} かけは何か?Ⅰ	ハつほどんかん	ス 給 で 問 か さ	5 th t-	ーのか	١ ٦					
												テして進め	ようと計	画して	ていた。しかし近	丘い将来での区画

整理事業が完了するまで相当な時間を要するため、平成18年度に事業開始し現在に至る。 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

まだ工事施工を行っていないため大きな状況変化はない。近年、国道504号の鹿児島空港前付近の通行量が多く、溝辺・横川方面から国分・隼人方面への 所要時間も以前より長くなった。そのため、これまで国道を利用していた車輌が本路線を通行するようになったため、以前より通行量が増加している。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

平成19年5月28日に説明会を開催したが、住民の関心は高く、早期の事業開始を望む声が多かった。

	事務事業名	馬立北原線道	路整備事業	所属部	溝辺総合支所	所属課	建設課	
2	評価の部(SEE) ⁷ 政策体系との		価、ただし複数年度事業は ■ 見直し余地がある 【理		☑ 結びついている	【理由】	₽	
	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついて	ヽ?意図すること	馬立北原線は溝辺地区の幹線	・ は道路のひ			・ 公営住宅団地も位置している。この E目的とする道路ネットワークの構築	
 至	公共関与の安	当性	□見直し余地がある【理	曲】	☑ 妥当である 【理	申プ		
評	らないのか?税金を する目的か?		周辺地域の住民が安全に通市道の整備であるため、市が問			快適に移動	かできるようになることを目的とした	
10	対象・意図の妥	妥当性	■ 見直し余地がある 【理	曲】	☑ 適切である 【理	申】之		
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		馬立北原線のみの整備である 幅員が狭小で歩道が未設置で			直す必要は	ない。	
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理由	4 [1	□ 向上余地がない	【理由】	₱	
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 因で成果向上					は図られていない。現段階の成果 注進し、道路が整備されることで成果	
有	廃止・休止の反	艾果への影響	□影響無 【理由】 🖜		▼ 影響有 【その内	容] 🦜		
效性訊	事務事業を廃止·休 響の有無とその内容		事業を廃止・休止した場合、幅また舗装の傷みがひど〈穴ぼると転倒・接触等の事故が起きる	も発生する	るなど道路状態も非常に		安全を確保できない。 者・通行車両ともに多く、このままだ	
個	類似事業との約 可能性	統廃合・連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)			
	目的を達成するには以外他に方法はない		□ 統廃合できる 🕤 🔲	連携できる	る ➡	きない 🕤	□連携できない 🕤	
	の統廃合ができるか連携を図ることにより	?類似事業との	都市計画区域ではあるが、区間	画整理事業	は当面実施の見込みも	なく、事業	の統廃合はできない。	
	期待できるか?	、成未の向上が		1 2				
	事業費の削減	余地	▼ 削減余地がある 【理由	1) 🕏	□ 削減余地がない	【理由】	₽	
效率	() () () () () () () () () ()	の適正化、住民	他の公共事業現場からシラス い、工事費の縮減をはかる。	を流用する	るなど資材調達方法の見	見直しを行っ	ったり、残土処理場所の再検討を行	
性評	人件費(延べ業 減余地	美務時間)の削	□ 削減余地がある 【理由	1) 🥏	☑ 削減余地がない	【理由】		
	やり方を工夫して延減できないか?成果 正職員以外の職員・いか?(アウトソーシ	具を下げずにより や委託でできな	今後、用地取得のための地権 は市職員でなくては対応ができ	者との交渉 きない業務	や施工に向けた工事積 となるため削減はできな!	算·発注を い。	職員が担当することとなる。 これら	
公	受益機会·費用 化余地	月負担の適正	□見直し余地がある【理	画プ	☑ 公平・公正である	3 【理由】	₽	
計	事業の内容が一部の ないて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	公共施設(市道)の整備であり	、利用者が	一部の住民に限られるも	らのではない	١,	
3	評価結果の総括の 1次評価者として		(次年度計画と予算への反		l) 担当制 振り返り、反省点)	長記入村		
)・八計画者として、 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	✓ 適切✓ 適切✓ 適切	□ 見直し余地あり □ 平成また事	,26年度事 業費に関	業完了をめざして整備を		〕、計画どおり順調に進んでいる。 調達の模索や残土処理場所の再検	
(3) 今後の事業の方[「 廃止 「休止	句性(改革改善	案)・・・複数選択可)やり方改善(有効性改善)	□ H·			改革・改善による期待成果 止・休止、道路・施設整備等の場合は記入不要)	
	□ 目的再設定	▼ 事業の)やり方改善(効率性改善)		が離り 通りで特に改革改善をし		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
		なうための改善例					向上成維	
	工事費縮減のために 他の公共事業現場							
			すべき課題(壁)とその解決的 の精査を徹底し用地取得面積を		日地交渉相手も小かくす	る また田	地取得は用地交渉を計画通りに進	
め	ることが重要となる。						D再検討を行うなどして工事費の縮	

		半成	19	牛度	事務事:	美評価ン	<u> </u>				
No.			務鉄	直利用促進事 業	É				所 属	部企画部	
	TL 577 69	事業	<u> </u>						所 属	課企画政策	
政策	政策名		—	を かん ままって かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう しゅう かんしゅう しゅう かんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう) (I)				課長	名 川村 直。	
体系	施策名 基本事業名			系の充実 航空の路線確保	ひなが出流のま	女/共/口:)件			所属G(電話 番	•	G
	基 中	0 Z 会計		リログ リログ	事業	事業名		1,, , [电前往	35 40-0111	
Ŧ	5算科目				18090	企画調整	夷貝	—— 法令 —— 根拠 ^特	になし		
				方、手順、詳細			は全位	体像を記述)		事業期	間
)利用促進のた 産線利用促進・			等を関係市町村	等と連携して行	<u>5</u> .			l l	□ 単年度のみ	
·鹿」 ·鹿」	型薩線の利用仮 見島県鉄道整係 関内の鉄道在別	を選出される。 開催を では では では できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	字続に向 協議会	けた活動。(構成				,			
	状把握の部		5+m								
	務事業の目 段(主な活動		一					活動指標	三(事務事業の活	活動量を表す指標)	
	E度実績(19 ^年		行った	主な活動)				/H±//JH17	水(野奶野来のル 名称	到生で代す。日本	単位
				(ホームページに。 JR九州への要望		凸線マップの		ア会議の開	見催回数		回
20年	· 度計画 / 205	F 帝 I-	- 計画し	ている主な活動	1)		⇒	イ要望書等	 テの提出回数		
	- 反計画 (201 Eと同様	十夕に		(いる工体/点割))		,	ウ			
ঠর	免/雏 何を	対象に	-1.711	るのか) * 人や	白妖咨酒笙			対象 指	票(対象の大きさを	を 表す 指揮)	
市民	3K(0性、1円で)	x.) 3K IC	_0 () 1		口然良脉寸			X13K1H1	ェ(ス)家の人ととで 名称	14人 9 1日1宗)	単位
観光智	3							ア人口			人
							,	イ 観光入れ	1込み客数		人
音	図にの事業	にょっ	って 対:	象をどう変えるの	かり				亜(対象における	意図の達成度を表	す指標)
	利用しやすく) C(N):	3.CC / 52/CO					名称	心因の足成反とな	単位
								ア年間利用]者数		千人
							,	イウ			
結	果(どんな結	果に約	結び付け	けるのか)					:指標(結果の達	成度を表す指標)	
利便性	Łが確保できる							コ 外光 5 B	名称		単位
								ア鉄道の路イ鉄道のほ			路線 便
							,	ウ年間利用			五人
(2) 総	事業費·指標		単位	18年度	19年度	20年度		21年度	22年度	23年度	
	の推 Ball 国庫支持	<u>ŧ移</u> 出全	千円	(実績)	(実績)	(見込)		(見込)	(見込)	(見込)	
	別 数学应用-		千円								
学業	内 地方		千円								
事業費入量	記 その作	也 杉道	千円	79	79		79				
入量	事業費計	(A)	千円	79	79		79				
里											
		ア		5	5		5	5	5		
	活動指標	イ イ	回	2	2		2	2	2	2	
		ウア	人	127,615	127,773	128,12	28	128,383	128,640	128,868	
	対象指標	1	入	7,329,000	7,455,320	7,500,00		8,300,000	8,900,000		
		ウ	71	0.040	0.507	0.0	10	0.050	0.050	0.700	
	成果指標	アイ	千人	3,640	3,597	3,6	10	3,650	3,650	3,700	
		ウ									
		ア	路線	2	2		2	2	2		
上	位成果指標	イ ウ	便 千人	124 3,640	124 3,597	3,6°	24	124 3,650	124 3,650		
L		<u>.</u> ウ		ა,040	3,397	3,6	īU	ა,ნეს	ა,ხეს	3,700	

|(3) 事務事業の環境変化・住民意見等 この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

鹿児島県鉄道整備促進協議会は、H9.5.20に日豊本線複線化期成会等の3協議会を統合して、発足した。肥薩線利用促進·存続期成会は、ローカル線廃 止等の動きの中でS56.7.22に県域を越えて沿線の市町村で期成会を発足させた。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? JR九州への継続的な要望等により、ダイヤ等の改善が行われ、鹿児島市内への鉄道利用の利便性が図られ、国分駅、隼人駅の利用者が増えている。 H21.11.21に全線開通100周年を迎える肥薩線には、嘉例川駅や大隅横川駅等の観光資源があり、観光特急はやとの風もH16.3.13から運行している。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

鉄道在来線の整備や輸送サービスを改善するために、列車ダイヤの改善要望や高齢者、障がい者等が移動しやすい駅施設、車両等の整備要望がある。 (駅におけるエスカレーターの設置等)

	事務事業名	鉄道利用促進	事業	所属部	企画部	所属課	企画政策課
2	評価の部(SEE) ³ 政策体系との		価、ただし複数年度事業に ■ 見直し余地がある 【理		▼ 結びついている	(理由)	
目於	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついて	りは市(町)の政 い?意図すること	市内の公共交通の利便性を行うことは政策体系に結びつ				▼ F続を図る必要があり、この事業を
的妥	公共関与の女		□見直し余地がある【理	曲】为	▼ 妥当である 【理	由)之	
性評	なぜこの事業を市からないのか?税金をする目的か?	ヾ行わなければな ・投入して、達成					路線廃止等がなされており、利用 として積極的な取り組みが求めら
個	対象・意図の多	妥当性	□見直し余地がある【理	曲】シ	☑ 適切である 【理	由了	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		利便性を図る必要があることが	から、対象・i	意図は適切である。		た、交通移動手段を確保し、交通の
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理[山 ラ	□ 向上余地がない	【理由】	₽
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上		ター等が整	発備されていないため高	齢者等が和	ある。しかし、駅構内は階段等が多 利用しづらい現状にある。駅施設の 要である。
有	廃止・休止の反	成果への影響	□影響無 【理由】 🕤		▼ 影響有 【その内	容] 🤼	
效性評	事務事業を廃止・休響の有無とその内容		鉄道の利用者は減少傾向にあり、今後も継続する必要があ		沿線市町村、関係機関	、住民が一	体となった利用促進を図る必要が
個	類似事業との紹 可能性	統廃合・連携の				かけまる	
	目的を達成するには		➡ 肥薩線利用促進·ā □ 統廃合できる ➡ □				■連携できない ラ
	以外他に方法はない との統廃合ができる	か?類似事業と			促進・存続期成会と鹿	児島県鉄道	Í整備促進協議会があるが、構成市
	の連携を図ることに。 が期待できるか?	より、成果の向上	町村等が異なり統廃合はでき				
	事業費の削減	余地	■ 他に手段がない【理由 ■ 削減余地がある【理[▼ 削減余地がない	1【理由】	→
対率	成果を下げずに事業 いか?(仕様や工法 の協力など)		協議会での継続的な利用係の効果をあげられるような取り				載はできないが、最小の経費で最大
性		業務時間)の削	□ 削減余地がある【理[#I 🧈	☑ 削減余地がない	【理由】	₽
	Mの示化 やり方を工夫して延 減できないか?成果 正職員以外の職員 いか?(アウトソーシ	具を下げずにより や委託でできな	+B +> +> 10 +# -+* -+ mT+++1	-	T 14 15 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	/ = 75 +	進協議会の事務局は県交通政策 はので、人件費等の削減余地はな
公	受益機会·費用 化余地	用負担の適正	□見直し余地がある【理	曲)。	▼ 公平・公正である	る【理由】	₽
公平			************************************	+ 2 分 * * 4 0	到田尔朱 左续活動祭	+ 4= 5 − 1.1-	+ +000×41-0547-1-7
計	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	本市の公共交通の軒線であり、協議会の負担について			を付うことに	は、市民の公益性につながることで
			(次年度計画と予算への反			课長記入	
(1) 1次評価者として。 目的妥当性	の評価結果 「 適切	□ 見直し余地あり 🛴		振り返り、反省点)		
	有効性 効率性 公平性	道 適切	■ 見直しま地のリ 利用				重める必要がある。 「ス等の二次アクセスとの連携も推
(3		向性(改革改善	案)・・・複数選択可				改革・改善による期待成果
<	□ 廃止 □ 休止 □ 目的再設定 □ 事業統廃合·連打 □ 改革改善案 >	□ 事業の	0やり方改善(有効性改善) 0やり方改善(効率性改善) 0やり方改善(公平性改善)		状維持 通りで特に改革改善をし		発止・休止の場合は記入不要)コスト削減 維持 増加向
7	利用促進をする上で斑		のパリアフリー化、路線バス等 凾的な取り組み。(出張等での)			ある。	上 成維 持 低 下
[)	バス等を含めた公共3	を 通の利用促進を	すべき課題(壁)とその解決 、市民に対して広報する必要 がかる。(以前から、JRへの要	がある。	ているが、具体的な取り)組みや協	議がなされていない。)

			1 /2/	• • •	7132	2,1012.	未日二四ノ					
N	0.			務コ	ミュニティバス等	運行事業					部 企画部	
			事美	長台							課 企画政策	
TΗ	<u>~~</u>	政策名	0 1	快適	で魅力あるまちづ	がくり				課長	名 川村 直	人
	策系	施策名	0 2	交通	体系の充実					所属G(係	系) 企画政策	G
144	ホ	基本事業名	0 3	3 バス軸	輸送の確保					電話番	号 45-5111	
			会計			事業	事業名		:+ ^			
	子	5算科目	一般			18090	企画調整	費	— 法令 根拠 特にな	ù し		
重	弘 久三	事業の概要 (目休	的なわ		期期限完進	数年度重要	+수/		<u> </u>	事業期	閂
					- 500、子順、計2点 - る。(土、日は運休		奴牛反爭未	ひ土1	平隊で記述)		- ・ ・ 	旧
					霧島(6路線)を(株		たットワークにi	軍行委	託。		二十十岁000	
					に運行を委託。	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			. # 50		単年度繰返	
					等の運行(平成20年)					1		H 14 年度~)
7					行の検討。国分、物					-	= 400000 1/2	
					(市民11名…各地域 回バスの路線を延長						→(年度	
1		大把握の部		牛人巡	凹ハ人の始級を延む	支6、国力"牛人	の川は北西を作	収9つ	の始終ハスとして加	兀。	→ (干皮	十段)
		務事業の目		岩煙								
(1)		物事業の日 段(主な活動		ᆸᆟᄍ					活動指煙(事	移車業の活動	加量を表す指標)	
1		E度実績(19 ³		こ行った	- 主な活動)				/U±//Jロ'\ホ(ヲ	7777年来07日里 名称	が主でなり日本	単位
					川、牧園、霧島地区)						
					地区での新規運行		-)の検討。		アコミュニティル	バスの連行使	!数	便
								k.				
2	介午		年度1	「計画」	ている主な活動)		\Rightarrow	イ コミュニティル	バスの運行距	雕	万km
	7 -	- 	ナルマリ !行		ノ ている上なり出)		,				
		-) /(/(0)@	. 1 .						ウ検討会の開	催回数		回
	3.1	免/鈍 何な	计色	ーレブレ	1るのか) *人や[白			かからたまでき	対象の大きさを表	╘╼┼╘┾═╵	
市		家(証、門で、 公共交通機関				コ			XJ多KJ日代示(X	<u>I家の人ささをす</u> 名称	文 9 指信。	単位
		ニティバス	10721	&V 12629	(0) II L()			\Rightarrow	ア人口	12170		 人
								7		となるコミュニラ	ティバスの路線数	 路線
									ウ		TO THE PARTY OF	PHIM
	意	図(この事業	によ	って、対	す象をどう変えるの	りか)				対象における意	図の達成度を表	す指標)
(⊐					民の移動手段を確保				7-207143 H 131 (7-	名称		単位
									ア 移動手段が確	保できた住民	(自治会)の割合	%
								7	1			
									ウ			
		果(どんな結		結び付	けるのか)				上位成果指		成度を表す指標)	
利	使性	Łが確保できる	00							名称		単位
								\Rightarrow	アバスの路線	数		路線
								,	イ バスの便数 ウ 年間利用者	米石		便 千人
(2)	松	事業費·指標	画空		. 18年度	19年度	20年度		21年度	<u>双</u> 22年度	23年度	1.7
(2)		Ωt/	仕 4夕	単位	(実績)	(実績)	(見込)		(見込)	(見込)	(見込)	
		財富庫支	出全	千円		(大//)	(70,23)		(70.6.)	(70.63)	(76,63)	
	_	財制	支出金	千円								
	事			千円								
+л.	業費	と その		千円								
拉	筫	一般則		千円	41,404	45,876	94,9	53				
量		事業費計	(A)	千円	41,404	45,876	94,95	53				
里												
	Ш											
Ш			T =	7 /=	105	10-		70	470	170	170	
		(工手力+10+m	7		125	127		76	176	176	176	
1		活動指標	1		27	27	4	18 8	48 5	48 5	48 5	
\vdash			7		127,615	10 127,773	128,12	-	128,383	128,640	128,868	
		対象指標	1		127,015	28		50	50	120,0 4 0 50	50	
		い」のハロール	7	7	21	20	`	~	30	50	30	
			7		48.4	48.4	75	.7	75.7	75.7	75.7	
		成果指標	1		10.1							
			7	7								
			7	7 路線	34	51		73	73	73	73	
	上	位成果指標	1	便	150	213		34	384	384	384	
	_		7			352	42	28	437	442	442	
(3)		務事業の環					7.4 PC · ·					
					っかけは何か?は					OED VI = 1 = 1 = 1		
					通院等)を確保する)、横川(H14.12.2)。					0円)による連行	丁を開始した。	
	・1里	3 UHUS II !!!	ות ועב	4 1				1				

事務事業を取り巻〈状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

コミュニティバスの運行日に合わせて、高齢者の方々を中心に、買い物や通院、温泉入浴等に利用されており、高齢者の外出機会等が増えた。 平成18年11月7日にいわさきグループの赤字バス路線が廃止され、民間バス事業者が運行する路線バスの路線や便数が減少した。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 現在導入されていない溝辺、福山地区での運行要望があり、平成20年4月から運行予定である。

コミュニティバスを充実して欲しいという要望が議会並びに市民からある。

	事務事業名	コミュニティバン	ス等運行事業	所属部	企画部	所属課	企画政策課
2	評価の部(SEE) オ 政策体系との整		価、ただし複数年度事業 ■ 見直し余地がある		▼ 結びついている	【理由】	₽
1 :	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついて]は市(町)の政 ^?意図すること	コミュニティバス等の利便性	・ 生を図ることによ	り、地区内の交通空白地	地帯(交通	マイマップ 不便地域)に住む市民の移動手段は、快適で魅力あるまちづくりにつな
的妥	公共関与の妥	当性	■見直し余地がある	【理由】 🤝	☑ 妥当である 【理	曲】	
評	なぜこの事業を市がらないのか?税金を する目的か?		し、民間事業者の自助努力	では運行は困	難となっている。そのた	め、高齢化	t会の到来により、バス利用は減少 ど社会における移動手段の確保等 体系を構築する必要がある。
価	対象・意図の妥	妥当性	■見直し余地がある	【理由】 🧇	☑ 適切である 【理	由] 🧇	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		市民が快適で暮らしやすいし、交通の利便性を図る必				1地域の住民)の移動手段を確保
	成果の向上余	地	□ 向上余地がある 【	理由】 🥏	▼ 向上余地がない	【理由】	₽
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 因で成果向上	に、平成20年度から溝辺、	福山地区でコミ ま見込めない。	ミュニティバスの新規運行 なお、コミュニティバスの	うを行うこと 運行につ)市民の移動手段を確保するため により、運行エリアが充実するたいては、利用者ニーズにあった利用。
有	廃止・休止の点	は果への影響	□影響無 【理由】 5)	▼ 影響有 【その内	容] 🤼	
効性評価	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		この事業が廃止されると、3 市民生活への影響が大き)高齢者等の車を運転で	できない交	通弱者の移動手段がなくなるため、
価	類似事業との約 可能性	統廃合·連携の	✓ 他に手段がある(身	具体的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには	いか?類似事業と ?類似事業との	✓ 統廃合できる 5 溝辺、福山地区の福祉バス	ス(無償運送)、 E白地帯の解消	溝辺地区のタクシー券の	の配布は廃	■連携できない つ 産止し、コミュニティバス(有償運送) 2の公共交通機関との連携が必要で
	事業費の削減	余地	▼削減余地がある		□ 削減余地がない	【理由】	₹
効率	成果を下げずに事勢いか?(仕様や工法の協力など)		度以降は、市民の利用者	ニーズ(利用実 至行う余地があ	態等)に配慮しながら、ダ る。また,運賃収入を増 ^り	効率的で含	り事業費が上昇したが、平成21年 注理性のある運行形態(路線、便数、 、事業費の削減につながるので、市
性輕	人件費(延べ業 減余地	美務時間)の削	☑ 削減余地がある【	理由】 🥏	□ 削減余地がない	【理由】	₽
	やり方を工夫して延減できないか?成果 正職員以外の職員*	!を下げずにより や委託でできな		減の余地があ			契約事務等の一元化を図ることによ など形態が異なるため契約事務が
公平	受益機会·費用 化余地	月負担の適正	▶ 見直し余地がある	【理由】 🕏	□ 公平・公正である	5 【理由】	₽
性評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	他の公共交通利用者と比較 直しを行い地区間での負担			路線である	るか検証する必要がある。運賃の見
	評価結果の総括と 1次評価者としての		(次年度計画と予算への) 【担当記 辰り返り、反省点)	果長記入村	
(1)	目的妥当性		<u>へ</u> 見直し余地あり <u>→</u>	<i>)</i> 土 件心[口(]	成り返り、及自忠)		
	有効性 効率性						であり、利用実態が悪い路線につ こ見直していく必要がある。
	公平性		▼ 見直し余地あり	C10/ 1720—	Med Mennior y		
く コ 6 5 受 * * 担 :	今後の事業の方所原止	可性(改革改善 ▼ 事業の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	案)・・・複数選択可)やり方改善(有効性改善))やり方改善(効率性改善))やり方改善(効率性改善))、利用実態の悪い路線に 「形態(路線、便数、ダイヤ・現点から見直す必要がある。	(従来 ついては、効™等)になるように も成果向上の	:見直しを行う。	がい) (E) 改革・改善による期待成果 産止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 上 成維 果 低 下
他運	の交通機関との連携I 行形態の見直しだけた。	は図れるが、乗り結 だはなく、車両のA	継ぎになれていない市民(高小型化についても検討する)、利用者の理解を求める必	高齢者等)が多り 必要がある。	いので、理解を求める。		